#### 研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 3 年 8 月 6 日現在

機関番号: 32643

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2017~2020

課題番号: 17H02426

研究課題名(和文)空間的同化論およびヘテロローカリズム論からみた在留外国人の居住地の地理学的検討

研究課題名 (英文) Geographical investigation of Japan's ethnic enclaves based on spatial accumulation and heterolocalism

#### 研究代表者

石川 義孝 (Ishikawa, Yoshitaka)

帝京大学・経済学部・教授

研究者番号:30115787

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 12,100,000円

研究成果の概要(和文):本研究では、5国籍の外国人住民による8つの事例集住地に関する比較研究を行った。これらの集住地の状況を、2015年国勢調査の外国人の個票データを主に用いて、同一の凡例による集住地の地図化や、関連する主要指標に関する表の提示を行った。参与観察や聞き取り調査の成果も適宜利用した。得られた知見をお合して、外国人の集住地形成に関する重要な説明的枠組みである、空間的同代論とヘテロローカリズム 論の日本での適用の可能性を検討した。その結果、前者は韓国・朝鮮国籍のオールドカマーの集住地にだけ妥当するが、後者は多くのニューカマーによる集住地にあてはまる、という結論を得た。

研究成果の学術的意義や社会的意義 日本の在留外国人に関する既往研究の大部分は、特定の国籍の外国人によって形成された単独の集住地のみを扱う傾向が強く、集住地の比較研究は未着手の状態にあった。本研究では、2015年国勢調査の個票データを主に用いて、様々な観点からの比較を試みた。成果として刊行した "Ethnic Enclaves in Contemporary Japan" (Springer)は、外国人集住地に関するわが国では最初の包括的な研究成果である。 日本の人口減少に対する処方箋として、外国人の受け入れ拡大が重要である。国内の外国人の定住に関する実情の正確な把握が、こうした方向の実現に不可欠である。

研究成果の概要(英文): In this research, we conducted a comparative study on eight ethnic enclaves formed by foreign residents of five nationalities (China, Korea, Philippines, Brazil and Turkey). These enclaves were mapped with the same legend using the microdata of foreign residents from the 2015 census, and several enclave-related data were tabulated in a comparative manner. We also used the results of participant observations and interview surveys. Based on the obtained findings, we examined the possibility of applying existing explanatory frameworks, specifically spatial assimilation and heterolocalism, to the ethnic enclaves of contemporary Japan. Consequently, we concluded that the former is applicable only to the enclaves of Korean oldcomers, while the latter is applicable to those of many newcomers.

研究分野: 人口地理学

キーワード: 外国人 居住地 集住地 個票データ 地図 空間的同化 ヘテロローカリズム

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

#### 1.研究開始当初の背景

わが国の総人口は 2008 年にピークに達し、以後減少している。人口減少国となった日本が目指すべき方向は、出生率の改善と国際人口移動の流入超過である。しかし、前者はこれまでの多大な政策的努力にもかかわらず、顕著な成果が見られていない。それに対し、後者の国際人口移動の流入超過、すなわち外国人の受け入れは、国連による 2001 年の「補充移民(replacement migration)」に関する報告書で表明された方向に合致しており、現代の日本に有効な視点を提供している。この方向は、出生率改善という方向に比べ、短期的あるいは即効的な効果を期待できるというメリットがあるからである。

ところで、日本における外国人は、1980 年代後半以降、徐々に増加し、住民基本台帳によると、2015 年には 223 万人に達していた。これは、わが国における国際人口移動の流入超過が、数字上は、順調に推移しているという印象を与える。しかし、わが国で増加している外国人は、ホスト国である日本の社会に、はたしてうまく定着しているのであろうか。これについては、社会学の分野を中心に一定の研究成果がある。この場合の同化とは、ホスト国での滞在が長期化するにつれて、日本国内の外国人が、言語・習慣・消費や社会経済的地位が、日本人に近づいていくという見方である。

ところで、ホスト社会への移民(ないしは外国人)の同化を検討する地理学的視座としては、 米国で誕生した空間的同化論(Massey and Denton, 1985)がある。これは、移民は当初はホスト社会の一部、特に都市内のインナーシティに集住し定着するが、社会経済的地位が上昇すると、そうした集住地を離れていく、という見方をさす。さらに、これを発展させたヘテロローカリズム論(Zelinsky and Lee, 1998)は、移民はホスト国に入国後、必ずしも集住せず、都市、地域、国家、グローバルといった様々な空間的スケールで分散居住するという見方をとる。これらの説明的枠組みは、近年の欧米諸国における移民の地理学的研究の注目すべき論点となっている。しかし、わが国の地理学分野における既往研究の多くは、外国人の特定の集住地を取り上げており、個別の事例報告を超えて、既存の枠組みの日本国内での妥当性を広く検討する研究は、ほとんど皆無であった。

#### 2. 研究の目的

人口減少国となった日本にとって、国際人口移動の流入超過、すなわち外国人の受け入れは、きわめて重要な政策課題となっている。日本におけるエスニック・マイノリティとしての外国人は、1980年代後半以降徐々に増加しているが、彼らの日本社会での定着が円滑に進んでいるかどうかを、居住地に焦点を置いて研究した地理学的成果は、わが国ではいまだほとんど見られない。そのさい、特に国内に見られる外国人の集住地がどのような要因によって形成されたのかが、この疑問を解く重要な鍵となる。以上の問題意識から、本研究は、国内の集住地から事例を選定し、そこでの居住実態の解明を通じて、移民あるいは外国人の居住地選択に関する主要な説明的枠組みである、空間的同化論およびヘテロローカリズム論の日本での妥当性の検証を目的とする。

#### 3. 研究の方法

上記の研究目的を達成するために、本研究ではまず、政府統計を用いて、国内の在留外国人の居住状況を把握した。次いで、主に米国における移民の集住地形成に関する既往研究のレビューを行った。

さらに、事例集住地として、5 つの国籍の外国人住民によって形成された、12 の自治体に見られる 8 つの集住地を選定した。これらの自治体とは、中国国籍については、東京都豊島区、埼玉県川口市・蕨市、韓国・朝鮮国籍については、大阪市生野区、東京都新宿区、フィリピン国籍については、愛知県名古屋市、静岡県焼津市、ブラジル国籍については、静岡県浜松市中区・東区・南区、トルコ国籍については、愛知県北名古屋市・豊山町、である。これらのうち、最後のトルコ人の事例は、明確な集住をまだ示しておらず、現在は集住地形成の途上にあると考えられる。さて、事例集住地の比較のための重要なデータソースとして、2015 年国勢調査の外国人の票データを総務省統計局の統計データ利活用センターから入手し、各集住地における各国籍の外国人の人口比率を、町丁単位の地図で示した。これらの地図は、縮尺を揃えるとともに、外国人人口比率の階級区分を同一にした。また、同じ個票データを用い、「人口と就業」、「5 年前の住所」、「現住地での滞在期間」、「主要な職業」、「通勤」、「国際結婚」という、集住関連の6つの重要指標に関する表を作成した。これらの地図や表からの知見を、集住地における参与観察や外国人住民への聞き取り調査から得られた知見とあわせ、成果のとりまとめを行った。

### 4. 研究成果

本研究は、2017~2020年度の4年間に及んだ。この研究期間を二分し、前半の2017~2018年度には、国内在住の外国人の居住地の把握、後半の2019~2020年度には、事例集住地の分析を通じた空間的同化論およびヘテロローカリズム論の日本における経験的妥当性の評価、という異なる課題を設定した。

#### 2017~2018年度

『国勢調査』(2015年国勢調査の外国人個票データを含む)や『在留外国人統計』などのデータを用い、都道府県、市区町村、町丁字といった複数の空間レベルにおける外国人の居住状況を地図化する作業を行った。国内在住の外国人の居住地に関する実情の把握には、まず、どのような属性をもった外国人がどこにどれだけ居住しているのか、という基本的な事実の確認が不可欠だからである。その成果として、多数の地図を各項目ごとの短い解説文とともに掲載した、石川義孝編(2019)『地図でみる日本の外国人(改訂版)』(ナカニシヤ出版)、を刊行した。この地図帳から得られた主な知見を述べると、外国人の分布は、3大都市圏を中心としており、地方圏では少ないという傾向が顕著である。前者では外国人住民の在留資格が多様であるが、後者では技能実習など少数の在留資格に偏る傾向がある。

人口減少時代を迎えた日本では、外国人の受け入れが重要な政策課題となっているが、この 地図帳は、国や地方自治体の外国人関連施策に関わっている政策担当者を、重要な読者として 念頭に置いて作成されたものである。その意味で、本研究の本来の成果というよりは、研究の 社会的貢献として刊行されたという面が強い。

#### 2019~2020年度

移民の集住地形成に関する、主に米国で刊行された既往研究のレビューの成果として、石川 義孝(2019)エスニック集団の都市内集住地に関する研究動向 米国での成果を中心に 、立命 館地理学、31、1-12 頁、を刊行した。この中で、Massey and Denton (1985)や Zelinsky and Lee (1998)を詳しく紹介して、空間的同化論およびヘテロローカリズム論という、移民の集住地に関する説明的枠組みが生まれた経緯や、その後におけるこれらの枠組みの評価をまとめた。

さらに、事例集住地の分析で得られた成果の詳細は、2021 年 4 月に刊行された Ishikawa, Y. (Ed.) *Ethnic Enclaves in Contemporary Japan*、Springer、にまとめた。この英文編著には、代表者・分担者の全員が寄稿している。成果の内容は多岐にわたるが、その骨子を述べれば、以下のようになる。

集住地の具体的な状況は国籍によってかなり異なるが、現代の日本に見られる外国人の集住地では、外国人人口は概して少ない。町丁単位でみた、総人口に占める当該国籍の外国人人口の比率は高くない。2015 年国勢調査時点で、事例集住地が位置する自治体における当該国籍の人口が多い上位 4 つの集住地は、生野区の韓国・朝鮮人の 14,252 人、豊島区の中国人の 11,393人、川口市の中国人の 9,840人、新宿区の韓国・朝鮮人の 8,744人である。集住地の空間的範囲は、当該国籍の外国人人口比率がおおむね 5%以上の比率を示す町丁とみなして差し支えないであろう。この比率が 20%を超す町丁は、生野区における韓国・朝鮮国籍のオールドカマーの集住地などで、ごく少数見られるに過ぎない。集住地の面積も概して小さい。

また、外国人が集住地を形成する理由は多岐にわたるが、既往研究で指摘されてきた外部要因 (エスニック・マジョリティによる差別や偏見から逃れるための、エスニック・マイノリティの やむない集住)と内部要因(当該のエスニック・マイノリティの相互支援や文化的伝統の維持の 必要性から生じる自発的な集住)の双方の理由がよくあてはまっている。

さらに、外国人の集住地形成に関する既存の説明的枠組みの、日本への適用可能性を検討した。 その結果、伝統的な空間的同化論は、生野区にある韓国・朝鮮人のオールドカマーの集住地にの み妥当することが判明した。ただし、埼玉県の川口市や蕨市の中国人や、新宿区の韓国・朝鮮人 のニューカマーによる集住に関しては、Wright et al. (2005)が提起した修正空間的同化論が 妥当している可能性がある。これらの3つの集住地の外国人住民における最多の職業が専門的・ 技術的職業となっており、社会経済的地位が高いからである。一方、ヘテロローカリズムの枠組 みは、日本の多くのニューカマーによる集住地にあてはまっている、と言える。

最後に、本研究の残された課題として、国内の人口が1万人に満たない、人口の少ない国籍の外国人の集住の状況を解明すること、本研究で明らかになった日本の集住地を海外の集住地と、既往文献を使って比較する作業がなされる必要があること、本研究で明らかになった外国人集住地が、人口減少時代を迎えた日本にいかに貢献しうるかに関して検討すること、の3点を挙げた。

## 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計30件(うち査読付論文 21件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 16件)

1 - 書名名	〔雑誌論文〕 計30件(うち査読付論文 21件/うち国際共著 2件/うちオーブンアクセス 16件)	
YOSh Itaka Ishi kawa         7           2. 論文機器 Internal Higration in Japan         5、飛行年 2020年           3. 維証名 Bell, M. et al. (Eds.) Internal migration in the countries of Asia: A cross-national comparison. Springer         6、最初と最後の頁 113-136           1. 報義名 GDL(デジタルオプシェクト環別子) TO-1007/978-3-030-44010-7.7         直際共業 本           1. 著名名 GDL(財産業         4. 巻 58           2. 論文機器 (デラル経験を: 最近10年間の人口学研究の動向) 人口移動分野         5. 発行年 2020年           3. 利益名 (アラルオプジェクト環別子) 10.24454/jps.2003002         直読の有無 有           7 プンアクセス オープンアクセス         4. 巻 1. 番名名 Yoshi Itaka Ishi kawa         4. 巻 1. 番名 Yoshi Itaka Ishi kawa 1.16           1. 著名名 Yoshi Itaka Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer         6. 熱羽と縦使の頁 1.16           1. 著名名 Yoshi Itaka Ishi kawa and Kazumasa Hanaoka         2. 施大機器 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves as example cases         5. 飛行年 2021年           2. 論文機器 Veverview of ethnic enclaves as example cases         5. 飛行年 2021年           3. 練話名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer         4. 差 2           4. 差 Yoshi Itaka Ishi kawa and Kazumasa Hanaoka         2           2. 読成程鑑 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer         5. 飛行年 2021年           3. 練話名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer         6. 處初と表の有無 4 差 7. 飛行年 7. 元子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子	1,著者名	4 . 巻
2 : 論文権題 Internal Wigration in Japan 2020年 2020年 3 : 練誌名 Boll I, W. et al. (Eds.) Internal migration in the countries of Asia: A cross-national comparison, Springer 目 13:136 日本の		
Internal Migration in Japan   2020年   3. 利益名   6. 最初と最後の頁   113-136   11	TOSHITANA TSHINAWA	'
Internal Migration in Japan   2020年   3. 利益名   6. 最初と最後の頁   113-136   11		
3 ・制証名 Bell M. et al. (Eds.) Internal migration in the countries of Asia: A cross-national comparison, Springer 113-136 Bell M. et al. (Eds.) Internal migration in the countries of Asia: A cross-national comparison, Springer 113-136	2.論文標題	5.発行年
3 ・制証名 Bell M. et al. (Eds.) Internal migration in the countries of Asia: A cross-national comparison, Springer 113-136 Bell M. et al. (Eds.) Internal migration in the countries of Asia: A cross-national comparison, Springer 113-136	Internal Migration in Japan	2020年
Bell, M. et al. (Eds.) Internal migration in the countries of Asia: A cross-national corparison, Springer	ggg	
Bell, M. et al. (Eds.) Internal migration in the countries of Asia: A cross-national corparison, Springer	2. 사람	6 早知と早後の百
表議論文の001(デジタルオブジェクト識別子)   一直際共著   日際共著   日際共著   日際共著   日際共著   日際共著   日際共著   日東   日東   日東   日東   日東   日東   日東   日		
掲載論文の101(デジタルオブジェクト講別子)   名談の有無 有	Bell, M. et al. (Eds.) Internal migration in the countries of Asia: A cross-national	113-136
掲載論文の101(デジタルオブジェクト講別子)   名談の有無 有	comparison, Springer	
10.1007/978-3-030-44010-7_7		
10.1007/978-3-030-44010-7_7	世帯会さのDOL / ごごクリナブご - 万七筮叩フ)	木井の左無
1 著名名		
1 著名名	10.1007/978-3-030-44010-7_7	有
1 著名名		
1 著名名	オープンアクセス	国際共著
1 ・著者名 石川義幸		
石川義幸       5         2 . 論文様題 【学界展望 特集:最近10年間の人口学研究の動向】人口移動分野       5 . 飛行年 2020年         3 . 雑誌名 人口学研究       6 . 最初と最後の頁 35:42         村 . 一ブンアクセス オーブンアクセス       国際共著         1 . 著名名 Yoshi taka Ishi kawa       4 . 巻 1         2 . 論文標題 Introduction       5 . 飛行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 1 - 16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1007/978-981-33-6996-5_1       国際共著         1 . 著名名 Yoshi taka Ishi kawa and Kazumasa Hanaoka       2 . 論文標題 Coverview of ethnic enclaves as example cases       4 . 巻 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       5 . 飛行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         4 . 巻 2 . 論文標題 Coverview of ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         4 . 巻 10.1007/978-981-33-6996-5_2       面際共著	オープファクセス こはない、 又はオープファク セスか 困難	-
石川義幸       5         2 . 論文様題 【学界展望 特集:最近10年間の人口学研究の動向】人口移動分野       5 . 飛行年 2020年         3 . 雑誌名 人口学研究       6 . 最初と最後の頁 35:42         村 . 一ブンアクセス オーブンアクセス       国際共著         1 . 著名名 Yoshi taka Ishi kawa       4 . 巻 1         2 . 論文標題 Introduction       5 . 飛行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 1 - 16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1007/978-981-33-6996-5_1       国際共著         1 . 著名名 Yoshi taka Ishi kawa and Kazumasa Hanaoka       2 . 論文標題 Coverview of ethnic enclaves as example cases       4 . 巻 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       5 . 飛行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         4 . 巻 2 . 論文標題 Coverview of ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         4 . 巻 10.1007/978-981-33-6996-5_2       面際共著		
石川義幸       5         2 . 論文様題 【学界展望 特集:最近10年間の人口学研究の動向】人口移動分野       5 . 飛行年 2020年         3 . 雑誌名 人口学研究       6 . 最初と最後の頁 35:42         村 . 一ブンアクセス オーブンアクセス       国際共著         1 . 著名名 Yoshi taka Ishi kawa       4 . 巻 1         2 . 論文標題 Introduction       5 . 飛行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 1 - 16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1007/978-981-33-6996-5_1       国際共著         1 . 著名名 Yoshi taka Ishi kawa and Kazumasa Hanaoka       2 . 論文標題 Coverview of ethnic enclaves as example cases       4 . 巻 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       5 . 飛行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishi kawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         4 . 巻 2 . 論文標題 Coverview of ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         4 . 巻 10.1007/978-981-33-6996-5_2       面際共著	1,著者名	4 . 巻
2 - 論文標題 【学界展望 特集:最近10年間の人口学研究の動向】人口移動分野		
【学界展望 特集:最近10年間の人口学研究の動向】人口移動分野       2020年         3 . 雑誌名 人口学研究       6 . 最初と最後の頁 35-42         掲載論文の2001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.24454/jps.2003002       重勝共著         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       国際共著         1 . 著名名 Yoshitaka Ishikawa       4 . 巻 1         2 . 論文標題 Introduction       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 1-16         掲載論文の2001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1       重勝共著         1 . 著名名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka       2         2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         掲載論文の2001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2       直読の有無 17-44         オープンアクセス       国際共著	ᆈᄭᄦᇸᆂ	50
【学界展望 特集:最近10年間の人口学研究の動向】人口移動分野       2020年         3 . 雑誌名 人口学研究       6 . 最初と最後の頁 35-42         掲載論文の2001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.24454/jps.2003002       重勝共著         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       国際共著         1 . 著名名 Yoshitaka Ishikawa       4 . 巻 1         2 . 論文標題 Introduction       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 1-16         掲載論文の2001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1       重勝共著         1 . 著名名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka       2         2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         掲載論文の2001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2       直読の有無 17-44         オープンアクセス       国際共著		
【学界展望 特集:最近10年間の人口学研究の動向】人口移動分野       2020年         3 . 雑誌名 人口学研究       6 . 最初と最後の頁 35-42         掲載論文の2001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.24454/jps.2003002       重勝共著         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       国際共著         1 . 著名名 Yoshitaka Ishikawa       4 . 巻 1         2 . 論文標題 Introduction       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 1-16         掲載論文の2001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1       重勝共著         1 . 著名名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka       2         2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         掲載論文の2001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2       直読の有無 17-44         オープンアクセス       国際共著	2 . 論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名 人口学研究		
A口学研究   35-42	·····································	
A口学研究   35-42	0. 1844.0	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24454/jps.2003002		6.最初と最後の負
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24454/jps.2003002	人口学研究	35-42
10.24454/jps.2003002 有		
10.24454/jps.2003002 有		
10.24454/jps.2003002 有		
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa  2. 論文標題 Introduction  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  1.16  指動論文のDDI (デシタルオプジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2. 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  6. 最初と最後の頁 1-16  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2. 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  指載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2  有 オープンアクセス  国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa  2. 論文標題 Introduction  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  1.16  指動論文のDDI (デシタルオプジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2. 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  6. 最初と最後の頁 1-16  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2. 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  指載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2  有 オープンアクセス  国際共著	10.24454/ips.2003002	有
1. 著者名		13
1. 著者名	+	
1 . 著者名		<b>国际</b> 共者
Yoshitaka Ishikawa       1         2 . 論文標題 Introduction       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 1-16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1       重読の有無 4 . 巻 2         オープンアクセス Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka       4 . 巻 2         2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2       重読の有無 10.1007/978-981-33-6995-5_2         オープンアクセス       国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Yoshitaka Ishikawa       1         2 . 論文標題 Introduction       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 1-16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1       重読の有無 4 . 巻 2         オープンアクセス Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka       4 . 巻 2         2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2       重読の有無 10.1007/978-981-33-6995-5_2         オープンアクセス       国際共著		
Yoshitaka Ishikawa       1         2 . 論文標題 Introduction       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 1-16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1       重読の有無 4 . 巻 2         オープンアクセス Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka       4 . 巻 2         2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6 . 最初と最後の頁 17-44         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2       重読の有無 10.1007/978-981-33-6995-5_2         オープンアクセス       国際共著	1 英字句	Λ <del>*</del>
2. 論文標題		
Introduction   2021年   2021年   3 . 雑誌名   Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer   1-16   1	Yoshitaka Ishikawa	1
Introduction   2021年   2021年   3 . 雑誌名   Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer   1-16   1		
Introduction   2021年   2021年   3 . 雑誌名   Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer   1-16   1		
3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オーブンアクセス  オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  お . 最初と最後の頁 17-44  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2  有  オーブンアクセス  国際共著		5 発行年
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       1-16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1       査読の有無 有         オープンアクセス	2.論文標題	
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       1-16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1       査読の有無 有         オープンアクセス	2.論文標題	
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       1-16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1       査読の有無 有         オープンアクセス	2.論文標題 Introduction	2021年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Yoshi taka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka 2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases 3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2 有 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 Introduction	2021年
10.1007/978-981-33-6995-5_1 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンドウル・ロール - コンドウル・コンドウル・ロール - コンアクセス 国際共著 - コンアクセス 国際共著	2.論文標題 Introduction 3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1007/978-981-33-6995-5_1 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンドウル・ロール - コンドウル・コンドウル・ロール - コンアクセス 国際共著 - コンアクセス 国際共著	2.論文標題 Introduction 3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1007/978-981-33-6995-5_1 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンドウル・ロール - コンドウル・コンドウル・ロール - コンアクセス 国際共著 - コンアクセス 国際共著	2.論文標題 Introduction 3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1007/978-981-33-6995-5_1 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンドウル・ロール - コンドウル・コンドウル・ロール - コンアクセス 国際共著 - コンアクセス 国際共著	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	2021年 6 . 最初と最後の頁 1-16
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Yoshi taka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka 2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases 3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2 有 オープンアクセス  国際共著	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	2021年 6 . 最初と最後の頁 1-16
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 Yoshi taka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka4 . 巻 22 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer6 . 最初と最後の頁 17-44掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	2. 論文標題 Introduction  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 1-16 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 Yoshi taka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka4 . 巻 22 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer6 . 最初と最後の頁 17-44掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 1-16 査読の有無
1 . 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2  有  国際共著	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1	2021年 6.最初と最後の頁 1-16 査読の有無 有
1 . 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2  有  国際共著	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 1-16 査読の有無 有
Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka 2  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases 5 . 発行年 2021年  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer 6 . 最初と最後の頁 17-44  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2 7	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 1-16 査読の有無 有
Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka 2  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases 5 . 発行年 2021年  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer 6 . 最初と最後の頁 17-44  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2 7	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 1-16 査読の有無 有
2.論文標題 <ul> <li>Overview of ethnic enclaves as example cases</li> </ul> 5.発行年 <ul> <li>2021年</li> </ul> 3.雑誌名	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有  国際共著
Overview of ethnic enclaves as example cases       2021年         3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6.最初と最後の頁 17-44         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Overview of ethnic enclaves as example cases       2021年         3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6.最初と最後の頁 17-44         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Overview of ethnic enclaves as example cases       2021年         3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       6.最初と最後の頁 17-44         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2. 論文標題 Introduction  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer 17-44 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1007/978-981-33-6995-5_2 有 国際共著	2. 論文標題 Introduction  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  - 査読の有無
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       17-44         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1007/978-981-33-6995-5_2       有         オープンアクセス       国際共著	2. 論文標題 Introduction  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2. 論文標題	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 2 5.発行年
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       17-44         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1007/978-981-33-6995-5_2       有         オープンアクセス       国際共著	2. 論文標題 Introduction  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2. 論文標題	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 2 5.発行年
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer       17-44         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1007/978-981-33-6995-5_2       有         オープンアクセス       国際共著	2. 論文標題 Introduction  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2. 論文標題	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 2 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2	2. 論文標題 Introduction  3. 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2. 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年
10.1007/978-981-33-6995-5_2有オープンアクセス国際共著	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2.論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
10.1007/978-981-33-6995-5_2有オープンアクセス国際共著	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2.論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
10.1007/978-981-33-6995-5_2有オープンアクセス国際共著	2.論文標題 Introduction  3.雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2.論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
10.1007/978-981-33-6995-5_2有オープンアクセス国際共著	2 . 論文標題 Introduction  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3 . 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題 Introduction  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 17-44
	2 . 論文標題 Introduction  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 17-44  査読の有無
	2 . 論文標題 Introduction  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 17-44  査読の有無
	2 . 論文標題 Introduction  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 17-44  査読の有無
オーノンアクセスではない、Xはオーノンアクセ人が困難	2 . 論文標題 Introduction  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 17-44  査読の有無 有
	2 . 論文標題 Introduction  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_1  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Yoshitaka Ishikawa and Kazumasa Hanaoka  2 . 論文標題 Overview of ethnic enclaves as example cases  3 . 雑誌名 Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6995-5_2  オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 1-16  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 17-44  査読の有無 有

1 . 著者名	4 . 巻
Kiyomi Yamashita	3
2.論文標題	5 . 発行年
Chinese enclaves: Formation of new Chinatowns by Chinese newcomers  3 .雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	45-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/978-981-33-6995-5_3	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
***	
1 . 著者名	4.巻
Taku Fukumoto	4
2.論文標題	5 . 発行年
The contrasting enclaves between Korean oldcomers and newcomers	2021年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	71-98
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/978-981-33-6995-5_4	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 ****	4 <del>11</del>
1 . 著者名	4.巻
Sachi Takahata	<sup>5</sup>
2.論文標題 Filipino enclaves as products of migration industry: Cases in a big city's downtown and a port city's coastal area	
3 .雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	99-123
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/978-981-33-6995-5_5	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4 . 巻
Hiromi Kataoka	6
2 . 論文標題	5 . 発行年
Brazilian Residents as Persistent Repeaters and Their Enclaves	2021年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	125-151
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/978-981-33-6995-5_6	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

	4 <del>**</del>
1.著者名	4 . 巻
Shuko Takeshita	7
2.論文標題	5 . 発行年
Z. 調又標題 Turkish Residents and Marital Assimilation	5 . 無行年 2021年
TUTKISH RESTURNIS AND MATITAL ASSIMITATION	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	0. 取別と取扱の貝 153-177
1. Tollinama (La.) Lilling elictaves til colliciliporaty sapali, springer	130-177
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/978-981-33-6995-5_7	有
	.,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
1 . 著者名	4 . 巻
Yoshitaka Ishikawa	8
2 . 論文標題	5 . 発行年
Conclusion	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Y. Ishikawa (Ed.) Ethnic enclaves in contemporary Japan, Springer	179-189
	<del></del>
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/978-981-33-6995-5_8	有
	== nhy ++ ++
「ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ##/ <i>a</i>	
1.著者名	4 . 巻
山下清海	13
) <del>*</del> 公立	F 整仁生
2. 論文標題 - ロオにおける地域活性化におけるエスニック姿質の近界亜性、中華集構和の問題を大様に中華集の実践例	5 . 発行年
日本における地域活性化におけるエスニック資源の活用要件 - 中華街構想の問題点と横浜中華街の実践例	2020年
を通して	6 早初と早後の百
3.雑誌名 - 地理空間	6.最初と最後の頁
地理空間	253-269
載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
<sup>7</sup> 取 に	・ 直硫の行無 有
10.4 <del>4</del> 000/1003.10.0 200	·FI
	国際共著
ナープンアクセス	国際共著
	国際共著
ナープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
「ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) .著者名	- 4 . 巻
ナープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 高畑 幸	- 4.巻 31
ナープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)  . 著者名 高畑 幸	- 4.巻 31 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 高畑 幸	- 4.巻 31
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 高畑 幸  2 . 論文標題 興行と介護の移住女性労働者 在日フィリピン人の経験から	- 4.巻 31 5.発行年 2020年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 高畑 幸  2.論文標題 興行と介護の移住女性労働者 在日フィリピン人の経験から  3.雑誌名	- 4 . 巻 31 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Tープンアクセス	- 4.巻 31 5.発行年 2020年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 高畑 幸  . 論文標題 興行と介護の移住女性労働者 在日フィリピン人の経験から	- 4 . 巻 31 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高畑 幸 2 . 論文標題 興行と介護の移住女性労働者 在日フィリピン人の経験から 3 . 雑誌名 日本労働社会学会年報	- 4 . 巻 31 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30-57
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 高畑 幸  2.論文標題 興行と介護の移住女性労働者 在日フィリピン人の経験から  3.雑誌名 日本労働社会学会年報	- 4 . 巻 31 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30-57
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高畑 幸 2 . 論文標題 興行と介護の移住女性労働者 在日フィリピン人の経験から 3 . 雑誌名 日本労働社会学会年報	- 4 . 巻 31 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30-57
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 高畑 幸  2 . 論文標題 興行と介護の移住女性労働者 在日フィリピン人の経験から  3 . 雑誌名 日本労働社会学会年報  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『	- 4 . 巻 31 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30-57  査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 高畑 幸  2 . 論文標題 興行と介護の移住女性労働者 在日フィリピン人の経験から  3 . 雑誌名 日本労働社会学会年報	- 4 . 巻 31 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30-57

1.著者名	4 . 巻
福本拓	13
2 . 論文標題	5 . 発行年
विकास वित	2020年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
地理空間	231-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.24586/jags.13.3_231	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
カープラブラビスとしている(また、との子をとめる)	
1 . 著者名	4 . 巻
Shuko Takeshita	11
2 . 論文標題	5 . 発行年
Halal Certification or Ingredient Disclosure: A Comparative Analysis of Serving Food in Japanese Tourist Destinations	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Islamic Marketing	765-781
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
10.1108/JIMA-07-2018-0129	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名 竹下修子・花岡和聖・石川義孝	<b>4</b> . 巻 50
2 . 論文標題	5.発行年
ヘテロローカリズム論の検証 愛知県のトルコ人の居住パターンに焦点をあててー	2021年
3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁
愛知学院大学文学部紀要 	65-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	<b>#</b>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
1. 有有有 片岡博美 	4 · 용 66
2 . 論文標題	5 . 発行年
「多文化のまち」が持つポリフォニックな姿:「多文化のまち」を街区レベルから読み解く重要性とその際に留意すべき事項についての覚書	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
経済地理学年報	324-336
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

1. 著者名	4 . 巻
竹下修子	48
0 *A-1-100	5 7%/= fT
2.論文標題	5.発行年
ハラール認証とムスリム観光客誘致 認証取得推進派と非推進派の比較分析	2019年
0. 1844 (5.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
愛知学院大学文学部紀要	63-70
	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	<b>同</b> 胺 共 苯
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. ***	A 344
1 . 著者名	4.巻
花岡和聖	666
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F 384-7-
2.論文標題	5.発行年
近年のオーストラリアにおける新規流入移民の居住地分布 国勢調査資料を用いた分析	2020年
2 hhttp://	C = 17 L = 14 A =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
立命館文學	82-101
	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. ##.6	
1. 著者名	4.巻
福本拓	64
0 AA-JEEF	= 7V./= hz
2.論文標題	5.発行年
在日朝鮮人事業所の空間的分布と集住地区との関連性 1980年代以降の大阪を事例に	2018年
0. 1844.67	C = 171 = 14 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
経済地理学年報	194-216
相乗込みの2017で5月14ずで、515年ロフン	本生の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	日際仕茎
	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1	1 2 22
1. 著者名	4 . 巻
福本拓	29
2	F 384-7F
2.論文標題	5.発行年
外国人集住地域における多文化共生拠点施設の役割と課題 2018年の入管法改正を念頭に	2018年
2 h+÷+ 선	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	1-30
宮崎産業経営大学研究紀要	1
呂崎座業終宫入字研究紀安	
	* * * o * / m
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	査読の有無無無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	無
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	無

1.著者名	4 . 巻
山下清海	21
2.論文標題	5.発行年
	_
南アフリカ、ヨハネスブルグのチャイナタウンの形成と変容 新旧のチャイナタウンの比較研究	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地球環境研究	63-74
~じゃか ×吹・花 刈1 ノレ	00-14
	<u> </u>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
│ なし	無
	<i>~</i> ***
オープンアクセス	国際共著
	当际六有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
	36
高畑幸	50
2.論文標題	5 . 発行年
東海地方における移住労働者のエスニシティ構成の『逆転現象』 静岡県焼津市の水産加工労働者の事例	2018年
ハ(すら) にいい ので 圧力 関ロマーハーファー 時成り たれが水る 閉門不成件 ロッカ 圧加工力 関目の手 門	2010-
2 1844-67	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本都市社会学会年報	147-163
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の方無
	査読の有無
なし こうしゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう	有
オープンアクセス	国際共著
	日が八日
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	4 . 巻
1.著者名	4.2
1 . 著者名 高畑幸	_
1 . 著者名 高畑幸	4 · 글 15
高畑幸	15
高畑幸 2.論文標題	5 . 発行年
高畑幸	15
高畑幸 2.論文標題	5 . 発行年
高畑幸  2 .論文標題  離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事	15 5.発行年 2019年
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名	15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
高畑幸  2 .論文標題  離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事	15 5.発行年 2019年
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名	15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究	15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究	15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
高畑幸  2.論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3.雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26
高畑幸  2.論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3.雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖	15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57
高畑幸         2.論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事         3.雑誌名 移民研究         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)         1.著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖         2.論文標題	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖	15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57
高畑幸         2.論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事         3.雑誌名 移民研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)         1.著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖         2.論文標題 戦略としての国境を越えた結婚 在米外国生まれの妻と夫の年齢差に基づく検討	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年
高畑幸         2.論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事         3.雑誌名 移民研究         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)         1.著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖         2.論文標題	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖  2 . 論文標題 戦略としての国境を越えた結婚 在米外国生まれの妻と夫の年齢差に基づく検討  3 . 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
高畑幸         2.論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事         3.雑誌名 移民研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)         1.著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖         2.論文標題 戦略としての国境を越えた結婚 在米外国生まれの妻と夫の年齢差に基づく検討	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖  2 . 論文標題 戦略としての国境を越えた結婚 在米外国生まれの妻と夫の年齢差に基づく検討  3 . 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖  2 . 論文標題 戦略としての国境を越えた結婚 在米外国生まれの妻と夫の年齢差に基づく検討  3 . 雑誌名 京都大学文学部研究紀要	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 135-154
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖  2 . 論文標題 戦略としての国境を越えた結婚 在米外国生まれの妻と夫の年齢差に基づく検討  3 . 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖  2 . 論文標題 戦略としての国境を越えた結婚 在米外国生まれの妻と夫の年齢差に基づく検討  3 . 雑誌名 京都大学文学部研究紀要	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 135-154
<ul> <li>高畑幸</li> <li>2.論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事</li> <li>3.雑誌名 移民研究</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス         <ul> <li>オープンアクセス</li> </ul> </li> <li>1.著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖</li> <li>2.論文標題 戦略としての国境を越えた結婚 在米外国生まれの妻と夫の年齢差に基づく検討</li> <li>3.雑誌名 京都大学文学部研究紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</li> </ul>	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 135-154
高畑幸  2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事  3 . 雑誌名 移民研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 石川義孝・竹下修子・Kao Lee Liaw・花岡和聖  2 . 論文標題 戦略としての国境を越えた結婚 在米外国生まれの妻と夫の年齢差に基づく検討  3 . 雑誌名 京都大学文学部研究紀要	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 135-154 査読の有無
高畑幸         2.論文標題 離局におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事         3.雑誌名 移民研究         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 135-154 査読の有無 無
<ul> <li>高畑幸</li> <li>2 . 論文標題 離島におけるフィリピン人結婚移民の定住と職業生活 1990年代に来日した女性たちの介護職への従事</li> <li>3 . 雑誌名 移民研究</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 15-26 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 135-154 査読の有無

1.著者名 花岡和聖・Kao Lee Liaw・竹下修子・石川義孝	4.巻 12
2 . 論文標題	5.発行年
アメリカ合衆国で暮らす既婚日本人女性の雇用パターンにみる日本的価値規範 日本でのワーク・ライフ・パランス実現のために	2017年
3.雑誌名 E-journal GEO	6.最初と最後の頁 101-115
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
	T 4 **
1 . 著者名   福本拓 	4 . 巻 21
2.論文標題 エスニック・セグリゲーション研究に関する覚え書き 日本での実証研究に向けて	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 空間・社会・地理思想	6 . 最初と最後の頁 15-27
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
_〔学会発表〕 計20件(うち招待講演 4件/うち国際学会 8件)	
1 . 発表者名   石川義孝 	
2.発表標題 コロナ禍と日本の地方圏への人口分散の可能性	
3.学会等名 日本学術会議地球環境変化の人間的側面(HD)分科会公開シンポジウム「コロナ禍の終息と持続可能な社」 人間的側面研究の推進」	会の実現に向けた地球環境変化の
4 . 発表年 2021年	
1.発表者名 山下清海	

2 . 発表標題

3 . 学会等名

4 . 発表年 2020年

シンポジウム「地域活性化におけるエスニック資源の活用」企画趣旨

第13回地理空間学会大会(オンライン開催)

1.発表者名 山下清海
2 . 発表標題 日本におけるチャイナタウンからみるエスニック資源の活用とその課題
3 . 学会等名 第13回地理空間学会大会(オンライン開催)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Sachi Takahata
2 . 発表標題 Jumping over the National Border: Filipino-Japanese Athletes Now and Beyond
3 . 学会等名 19th Annual International e-Conference on Japanese Studies "Sporting Japan: Manifestations of a Society in Transition (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名
高畑幸
2 . 発表標題 興行労働者から祖母へ 在日フィリピン人女性の30年
3. 学会等名 移民政策学会2020年度冬季大会シンポジウム「移民政策とジェンダー」(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 福本 拓
2 . 発表標題 韓流ブームに伴うコリアタウンの変容と地域活性化への課題
3 . 学会等名 第13回地理空間学会大会(オンライン開催)
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名
Yoshitaka Ishikawa
2.発表標題
Mapping foreign residents in Japan
29th International Cartographic Conference (国際学会)
4. 発表年
2019年
1.発表者名
2.発表標題
地方圏の人口動向と外国人住民の地図化
3 . 学会等名
日本水土総合研究所埼玉セミナー(招待講演)
4 . 発表年 2019年
20184
1.発表者名
山下清海
世界のニューチャイナタウンと西成中華街構想
3 . 子云寺石     立正地理学会秋季例会
ᆇᆂᅩᅄᆇᆍᇫᄭᇧᆂᆙᆟᄌ ᅟ
2019年
1.発表者名
山下清海
2 . 発表標題
第二次世界大戦後の横浜中華街の変容とその要因
日本地理学会春季学術大会
4 . 発表年
2020年

1.発表者名
Sachi Takahata and Keiko Yamanaka
2.発表標題
Nikkei Filipino workers in the Japanese seafood processing industry: History, recruitment and employment
3.学会等名
18th Annual International Conference in Japanese Studies(国際学会)
4.発表年
2020年
1.発表者名
石川義孝
2.発表標題
在留外国人の地図化とその政策的含意
3.学会等名
立命館地理学会(招待講演)
4.発表年
2018年
1.発表者名
John Connell
2.発表標題
Migration, social inclusion and places of difference: Australian cities in the age of Trump and Hanson
W. F. F.
3.学会等名
World Social Science Forum 2018(国際学会)
4. 発表年
2018年
1.発表者名
Ji-Ping Lin and Chyong-fang Ko
2.発表標題
Multiculturalism and social inclusion: changing migration policies and possible changes in Taiwan
3.学会等名
World Social Science Forum 2018(国際学会)
4.発表年
2018年

1.発表者名
TAKAHATA Sachi
2 . 発表標題
Wives, children and Nikkei's: Filipinos coming to Japan based on the attributions
3.学会等名
World Social Science Forum 2018 (国際学会)
world Social Science Forum 2010 (国际于云)
4.発表年
2018年
1.発表者名
TAKESHITA Shuko
2 . 発表標題
Social inclusion and exclusion in Japan: from the perspective of intermarrige
3.学会等名
3.字云寺名 World Social Science Forum 2018(国際学会)
world Social Science Forum 2016 (国际子云)
4 . 発表年
2018年
<u>4</u> 010 <u>T</u>
1.発表者名
TAKESHITA Shuko
THEOTHER ONLY
2.発表標題
Passing children of Brazilian-Japanese Families in Japan
3.学会等名
The 24th International Conference of the International Association for Intercultural Communication Studies(国際学会)
4. 発表年
2018年
1. 発表者名
山下清海
2.発表標題
2.光衣信題 南アフリカ、ヨハネスプルグのチャイナタウンの地域的特色
ロン フランス・コン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.学会等名
日本地理学会春季学術大会
4.発表年
2019年

1.発表者名 片岡博美	
2.発表標題 エスニック・ビジネス再考 ミドル「カントリー」の中のマイノリティ	
3.学会等名 人文地理学会大会	
4 . 発表年 2018年	
1.発表者名 福本拓	
2.発表標題 在日朝鮮人自営業者の空間的分布と集住地区との関連性 1980年代以降の大阪を事例に	
3.学会等名 日本地理学会	
4 . 発表年 2017年	
〔図書〕 計2件	
1.著者名 石川義孝	4 . 発行年 2019年
2.出版社 ナカニシヤ出版	5.総ページ数80
3.書名 地図でみる日本の外国人(改訂版)	
1.著者名 Yoshitaka Ishikawa	4 . 発行年 2021年
2.出版社 Springer	5 . 総ページ数 189
3.書名 Ethnic Enclaves in Contemporary Japan	
〔産業財産権〕	_

〔その他〕

-

## 6.研究組織

6	. 研究組織		<del>,</del>
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山下 清海 (Yamashita Kiyomi)	立正大学・地球環境科学部・教授	
	(00166662)	(32687)	
研究分担者	高畑 幸 (Takahata Sachi)	静岡県立大学・国際関係学部・教授	
	(50382007)	(23803)	
研究分担者	福本 拓 (Fukumoto Taku)	南山大学・人文学部・准教授	
	(50456810)	(33917)	
	竹下 修子 (Takeshita Shuko)	愛知学院大学・文学部・教授	
	(60454360)	(33902)	
	片岡 博美	近畿大学・経済学部・教授	
研究分担者	(Kataoka Hiromi)		
	(70432226)	(34419)	
	花岡和聖	立命館大学・文学部・准教授	
研究分担者	(Hanaoka Kazumasa)		
担者	(nanauka kazumasa)		

## 7.科研費を使用して開催した国際研究集会

# 〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会	開催年
Session "Current situation of social inclusion for immigrants", World Social Science Forum 2018	2018年~2018年
SOTOTION FOR AMERICAN	

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国相手方研究機関	
----------------	--